



地形図の登山道情報

国土地理院（以下GSI）からの要請で、日本山岳会（以下JAC）で協議をすすめている、地形図に表記されている登山道の正確な情報提供に関する懸案について、その後の経過をお知らせいたします

これは、現在二万五千分の一の地形図に記載されている登山道について、記載されている登山道が現実には無かったり、あるいは記載されていないところに立派な登山道が存在していたりしていることに対し、正確な情報を把握し、一般登山者の安全を確保する必要性から、全国の「一般ルート」「推奨ルート」を対象に調査を進めている。これにJACの全国組織を通じて情報提供をして地形図をより正確にしようとするものである

前回（二月）の例会において宮崎副会長より山岳地理クラブ（以下AGC）に対して協力の要請があり、当クラブとしても全面的に協力していく事になった。JACの中で委員会に等しい組織を設置する必要性があり、AGCからも数名参加することになりそうだ。

すでに昨年より数回にわたってGSIとの協議を進めており「登山道調査の取得基準」の提案を受けている。これによると地形図に掲載されている全国の山の一般的なルートを主体に、各地の名山やポピュラーな山を対称にして、廃道や新設、ルート変更などの情報を所定の書式で提供し、一旦JACで取り纏めてGSIに報告しようとするものである。

冬山や危険性の高い登山道は対象外とし、登山道の入り口や分岐・合流点などはハンディGPSで取得したデータを地形図修正に役立てることを予定している。

取得基準については、AGCレポート vol-19 に記載した原案に若干の修正を加え、下記の「提供する変化情報の注意点」（案）を検討している。

「登山道の変化情報に関する注意点」（案）

I、国土地理院の地形図に表示している登山道について
登山道は現地調査による写真判読やマップリーディング（読

図）により、その位置と形状を表示しているものが多く、細かな形状は地形図の編集によって省略されるため、GPS 機器で取得してデータと、地形図に表示している登山道を厳密に比較すると、位置や形状が微妙に異なるものがあると思われます。また登山のプロが歩けても、ビギナーには危険性が高い登山道は、国土地理院の地形図には表示しないようにしています。これらのことから、地形図に表示している登山道は細かな形状の一つ一つや、すべての登山道を表示していないことをご理解ください

II、提供頂きたい情報について

近年の登山ブームが高まる中で、一般登山者の安全を提供する必要があることから、一般登山者が多く利用する主要な山（「地域百名山」など）を対象に、ガイドマップ等で言われるような「一般ルート」と「推奨ルート」に重点をおいて調査を進めている

ただし、登山道は季節や天候等により細かなルートの変化が生じ易い性質上、大幅なルートの変更でなければ修正の対象としにくい面がありますので、ご提供いただきたい登山道の変化情報等は、以下のとおりとさせていただきます

1、登山道の範囲

- ① 全国の主要な山
- ② 一般登山者に危険性の無いルート
- ③ 冬山用の登山ルートは対象外
- ④ 主要な山以外には必要に応じて協力いただく

2、変化情報の内容

- ①廃道
 - ・崩落して通行不能または立ち入り禁止となった登山道
 - ・全く管理されていないため全面的に通行不可能な登山道
※草が生い茂ることによって部分的に通行が困難であるものは除く
- ②新設
- ③ルート変更
 - ・細かな形状の違いでなく、大幅にルートが変更している登山道

3、報告の書式（省略）

III ハンディGPSの機種と取得したGPSデーターについて、
（次号に続く）近藤記



連載 ゆにーく 標識&標石 ⑮ 丸宮標石

丸宮と言っても判り難いが、旧宮内省御料局の境界用の標石を我々マニアが勝手に表現している標石である。その標石には、○印の上に点、中に呂の漢字が刻印されている関係で丸宮（マルミヤ）と表現している。宮という漢字のウカムリを一周させて記号化した物。高尾山周辺、相模湖周辺、北八ヶ岳周辺、中禅寺湖周辺、塩原温泉周辺、唐沢山周辺（佐野市）で注意していると確認できるだろう。裏面には標石番号が「界町一三五」、こんな感じで刻印されている。この標石と遭遇した時、あなたの歩いているところは御料地かもしれませんので御注意下さい。昔は木の枝を一本折っても始末書だったそうです。（遠山）

私の分水嶺の集い

片野スミ子

私が分水嶺踏査に参加した時、十代の時の学校の授業で雨水が川となり、太平洋と日本海に別れて流れる事を習ったにもかかわらず、その状態が浮かばなかった。二十代のとき若尾文子主演の「分水嶺」という映画を見た事を思い出し、ますます混乱してきた。若年の頃の思い違いが今に至っているのです。

通学していた高校の近くに利根川が流れていて、その川に掛かる橋の袂に大きな桜の木があった。私たち親友五人の集いの場所だった。そこは家路につく時「さよなら」する分岐でもあった。ある時川向こうの千葉県から通学している友が「この川は分水嶺よね」と言った、もう一人が「この桜の木が三角点ね。今考えるとちょっと間違っているけど、その時は習った事を実際の場所にあてはめ、こういう事なのかと得意になっていた。その川向こうの友は薬剤師になり現在大田原市の開業医の妻となり、那須基線南端点の近くに住んでいる。私は相模野基線のある近くに嫁ぎ住んでいる。分水嶺踏査で那須基線に立寄ったとき、こんな偶然であるのか！と運命的なものを感じた。その分水嶺の集いは七名に増えて今も続いている。「三角点は銀座三越のライオンの前ね、何月何日何時その三角点で会いましょう・・・」で観劇したり、旅行の計画をしたりで楽しんでいるのです。

分水嶺踏査に参加して、少し分水嶺のことが解ってきた今、あの頃より重ねた年の分だけ心が豊かになり、私にとっての青春の分水嶺も大切にしています。地理クラブの皆様有難うございます。ちょっと上等な自分になった様な気分で、山を楽しんでいます。

行きましよう

玉川・荒川分水界探索

日時：2010年3月21日（日）

集合時間：JR 青梅線軍畑駅 8：40

立川7：51ー青梅乗換え 軍畑8：39

コース：軍畑ー榎峠ー高水山ー岩茸石山ー名坂峠ー黒山ー棒ノ折山、その少し先で大丹波林道に折、奥茶屋経由川井駅へ

地形図：「武蔵御岳」「原市場」

注）・軽アイゼンを用意ください ・雨天中止

問合せ 北野(090-3406-1189)

商品紹介

山岳通信のコンパクトなミラー

AGCで古代通信技術の再現実験を計画している中で、太陽光反射用のコンパクトなミラーが、例会に於いて関さんから紹介された。名刺サイズのミラー中心部の穴から、照射先を見ると、照準となるシグナルが見え、確実に目標に反射光を届けることができるグッズです。非常時の救出用に開発されたものなのですが、廉価(¥1800-)でコンパクトなので山行に携帯しておく、いざというとき役立つかもしれません



遠山さんの友人から、このミラーを使った実験写真が送られてきましたが、かなり有効ようですので江ノ島での予備実験で試す予定です。



ネット通販で入手できます(スターフラッシュ ジグカメラ)で検索してみてください

例会の議事録

2月定例会記録

2010年2月10日(水) 19:00~20:15

於JAC集会所

出席者17名(北野、平野、近藤、、半田(明)、半田(由)、遠山、高橋、鶴田(泰)、森合、山崎、大西、川口、長谷川、関、渡辺、今井(順不同) 他に登山道調査協力に関して宮割副会長出席

内容：①遠山会員による立川断層踏査に関して国土地理院発行の集成図紹介。(北野) 踏査は3月17日立川断層、4月21日名栗断層を予定する。詳細は遠山会員へ。(遠山) ②多摩川・荒川分水界の探索を3月21日に行う。コースは11月に引き続き軍畑駅、高水三山、棒ノ折山、川井駅を予定。青梅線軍畑駅午前8時40分集合。軽アイゼンを準備のこと。詳細は別紙。連絡は北野携帯へ。(北野) ③国土地理院との登山道調査協力打ち合わせが2月3日に行われた。協定案が提出されたので検討し、今年度中に申し合わせが出来そうである。JACでは少人数で情報を集約する専門の部署を設ける予定で、AGCからも担当人選を願いたい。(宮崎、平野) ④山岳地に於ける古代通信技術の再現予備実験について説明。神奈川県江ノ島展望台下を固定点として湘南海岸5地点と通信実験を行う。2月27日10時小田急線片瀬江ノ島駅10時集合。詳細は別紙。(近藤) ⑤「剣岳点の記」メモリアルエディションDVDを特別価格2500円で購入できるよう交渉済み。ただし紹介測量協会会員(田中会員)の会員番号記入が必要。紹介希望者は別紙振り替え用紙記入要領。(関)

終了後「鯨の家」で懇親会(17名) (記録：今井)

お知らせ

次回野の例会

日時 2010年3月10日(水) 18:30から 於：

山岳会 ルーム

テーマ：読図山行、山岳通信 報告ほか

AGC レポート vol-33 2010年2月24日発行

発行：日本山岳会・山岳地理クラブ(代表・北野忠彦)

〒102-0081 東京都千代田区四番町5-4 日本山岳会 気付

TEL 03-3261-4433 FAX 03-3261-4441

編集担当：近藤 E-mail: hikarikon@nifty.com